

畜産みやぎ

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

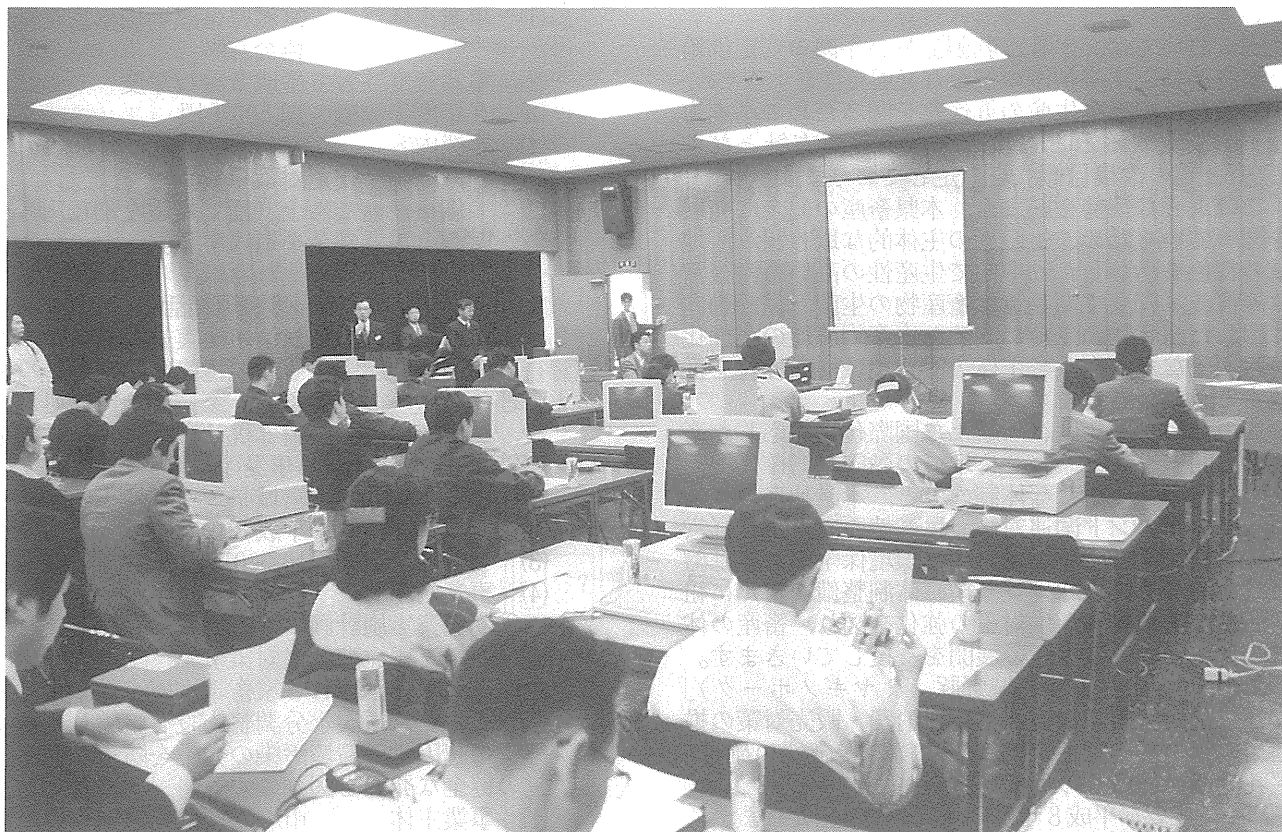
法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 木村春雄

定価 1部80円

印刷所 KK東北プリント



畜産農家経営支援インターネット研修会 (於: NOSAI ビル '96.3.12)

もくじ

平成8年度畜産課予算の概要と新規事業の紹介…… 2
 平成7年度生乳需給状況並びに
 平成8年度生乳需給調整対策について…… 4
 我々畜産学部19期生…… 5
 宮城県経済連畜産部の推進体制について…… 7
 畜産農家経営支援パソコン研修会開催される…… 6
 インターネットによる畜産関連情報の
 提供について…… 8
 乳用牛群検定事業について…… 9
 牛海綿状脳症の最新情報……10
 抱負……10

平成8年度畜産課予算の概要と新規事業の紹介

宮城県畜産課

平成3年4月の牛肉の輸入自由化、平成7年4月からのウルグァイ・ラウンド農業合意に伴う乳製品の関税化や畜産物の関税率引き下げが実施され、新たな国際環境に対応した経営の体質強化が求められています。

国においては、牛乳、乳製品及び牛肉の安定供給と酪農及び肉用牛生産の健全な発展を推進するため、「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」を策定するとともに、家畜の改良方針となる「家畜と鶏の改良目標」を設定しております。

このような情勢を踏まえ、本県畜産の健全な発展を図っていくため、生産者の主体的な取り組み、地域の特色を活かした効率的で生産性の高い畜産経営体の育成、安全で高品質な畜産物の生産、需給動向に即した畜産物の生産に向けた畜産物流通の合理化や銘柄化など、畜産を主体とした地域の活性化を推進する必要があります。

このため、本年度は「新たな国際化に対応した畜産の展開」をスローガンに地域の動向を的確に捉えつつ地方機関の新たな体制のもと、本県独自のウルグァイ・ラウンド関連対策、生産性の向上及び経営安定対策を推進するとともに、環境保全型畜産基盤の総合的な整備、豚コレラ撲滅体制整備を新たに組み込んだ家畜保健衛生対策の強化を図り、畜産の体質強化や効率的な生産の展開を支援していきます。

また、「仙台牛」、「宮城野豚（ミヤギノポーク）」などの県内産畜産物の銘柄化と消費・販売対策の推進、肉豚の価格安定対策、畜産物の安全性の確保、生乳流通合理化等の事業を推進します。

以下、主要な平成8年度の新規事業を紹介します。

1 県産牛肉消費拡大対策事業

県内産牛肉の消費拡大対策と仙台牛銘柄のより一層の普及定着を図るため、総合的な対策を実施し、県内肉用牛生産の振興を図ります。

- (1) 事業主体 仙台牛銘柄推進協議会
- (2) 事業年度 平成8～12年度
- (3) 8年度予算額 8,500千円
- (4) 事業内容

① 県産牛肉消費拡大戦略策定事業

効果的な消費拡大対策、販路拡大対策に係る方策を検討する。

② 県産牛肉消費拡大推進事業

広報宣伝対策、消費キャンペーン等の事業を展開する。

③ 仙台牛銘柄確立推進事業

県内、首都圏、中京圏において流通、販売ルートの拡大に向け消費流通対策、広報宣伝対策等の事業を展開する。

2 肉豚生産安定対策事業

豚枝肉に係る価格差補てん制度において、補

てん財源が不足し、かつ市場価格が県内中核的農家の生産費水準を下回った場合にその差額を格付け「上」以上の枝肉出荷者に対して補てんし、肉質の向上と養豚経営の安定を図ります。

- (1) 事業主体 宮城県畜産物価格安定基金協会
- (2) 事業年度 平成8～12年度
- (3) 8年度予算額 10,500千円
- (4) 事業内容

① 肉豚生産安定対策事業

価格差補てん金（補てん限度額12円）の財源となる基金を造成する。

② 県推進指導

価格差補てん制度の啓発活動を実施する。

- 3 畜産環境整備特別対策事業実施計画策定事業
畜産経営に起因する環境汚染の防止と経営の合理化のための基盤整備、家畜排せつ物処理施設、利用機械等の整備と併せて、畜産施設周辺環境の整備を実施する事業の計画を策定します。

- (1) 事業主体 宮城県
- (2) 事業年度 平成8年度
- (3) 8年度予算額 10,000千円
- (4) 事業内容

① 事業実施計画の策定

- 4 家畜ふん尿発酵促進対策事業

家畜から排出される家畜ふん尿を効率良く発酵させるため1次水分調整施設を整備し、畜産経営に起因する環境汚染の発生を防止し畜産経営の健全な発展を図ります。

- (1) 事業主体 市町村、農業協同組合、営農集団等
- (2) 事業年度 平成8～12年度
- (3) 8年度予算額 8,200千円
- (4) 事業内容

① 家畜ふん尿の1次水分調整施設整備

- 5 豚コレラ撲滅体制確立事業

豚コレラの発生の減少及び輸入自由化に伴う生産コスト削減の必要性から豚コレラを撲滅することとし、各種調査を実施して段階的にワクチンを接種しない防疫体制に移行することにより養豚経営の安定的な振興を図ります。

- (1) 事業主体 宮城県家畜畜産物衛生指導協会
- (2) 事業年度 平成8年度～
- (3) 8年度予算額 47,254千円
- (4) 事業内容

① 予防接種推進計画の策定

② 清浄度の分析及び確認

③ 予防接種状況等の分析及び検討会の開催

④ 予防接種率向上の促進

- ⑤ 清浄地域の維持対策
 6 地域畜産の創造体験・交流事業
 畜産が一般住民から広く共感と支持を受ける産
 業であり続けるため、畜産を理解する場を提供
 するための体験交流施設等の整備に対して支援
 を行います。
 (1) 事業主体 営農集団等

- (2) 事業年度 平成8～11年度
 (3) 8年度予算額 10,800千円
 (4) 事業内容
 ① 畜産振興PR施設
 ② 畜産振興歴史資料館整備
 ③ 緑地帯整備他
 (畜産経営係 鈴木秀彦)

平成8年度畜産関係予算一覧表

科目・事業名	本年度予算額(千円)
I 畜産総務費	709,652
II 畜産振興費	1,804,431
1. 家畜改良増殖事業費	152,841
2. 家畜改良対策事業費	11,884
3. 家畜導入事業費	13,361
4. 畜産高度生産技術実用化促進事業費	18,950
5. 畜産流通対策事業費	28,886
6. 地域畜産振興事業費	33,343
7. 畜産環境総合整備事業費	206,231
8. みやぎの快適畜産総合対策事業費	49,426
9. 畜産団体等育成強化事業費	24,556
10. 公共育成牧場対策事業費	117,191
11. 草地開発事業費	923,177
12. 自給飼料生産対策事業費	11,376
13. 流通飼料対策事業費	5,420
14. 学校給食用牛乳供給事業費	122,344
15. 生乳流通改善対策事業費	5,739
16. 酪農経営体質強化対策事業費	2,300
17. 畜産再編総合対策推進事業費	4,891
18. 肉用牛総合振興推進事業費	58,915
19. 養豚振興総合対策事業費	13,600
III 家畜保健衛生費	190,378
1. 家畜伝染病予防事業費	56,626
2. 家畜保健衛生費	14,193
3. 家畜衛生事業費	119,559
IV 宮城の新生産調整推進対策事業費	28,300
合 計	2,732,761

平成7年度生乳需給状況並びに 平成8年度生乳需給調整対策について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

平成7年度の生乳生産は、需要予測数量を基本とし生産実態等を勘案して平成4年度以来の増産型の目標（対前年目標比102.6%水準）となりましたが、7年度は昨年来の猛暑の影響により生乳生産の回復が遅れ計画生産始まって以来の大幅な未達となりました。（別表1）

本会としては二度にわたり会員とヒアリングを行い生産状況を加味した再配分の実施や年度末における会員間調整を実施したにもかかわらず、5,000t余りの未達となりました。

一方用途別販売については、当初飲用向生乳については、一定程度の需要の伸びを予測していましたが、天候不順、景気低迷、他飲料との競合激化更には前年度の伸びが記録的だったことから、対前年比95.2%と前年を大中に下回り、その結果乳製品向けは対前年比138.7%となりました。（別表2）

平成8年度が生乳需給調整対策については、急激な増、減産計画を繰り返さない為に生乳需給委員会答申の「平成8年度以降の中期生乳需給計画について」に基づき実施することになり、本年度の出荷目標数量は平成7年度が生乳出荷基礎最終目標に対し100.5%の計画となりました。（別表3）

又本年度は生乳需要に対応する安定的な供給を図（別表1）

るため、生産力に見合った計画生産の適正な配分調整等の課題もありますので、昨年度から実施された流動化対策等を活用され、規模拡大等により生産性の向上を図られるようお願い申し上げます。

尚、昨年度末に発生した全酪連宮城工場の食品衛生法違反の問題については、生産者の皆様にご心配をおかけして申し訳なく思っております。

全酪連の問題は事件発生後各マスコミ等でいろんな情報が飛び交っておりますが、生乳生産については従来通り計画生産に基づいた対応をお願い致します。

今回の全酪の問題は指定団体としての生乳取引であり県内全ての生産者の問題となります。

その為、事件発生後速やかに全酪連の余乳処理対策として、県内外の取引メーカーに飲用向等として増量をお願いし、販売不可能乳が発生しないように日々交渉に努めているとともに、今後の長期的な対応策として農水省等の行政機関並びに中酪、全農等の指導により安定供給を図りたいと思っておりますので、どうか指定団体としての一元集荷多元販売について更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（販売課長 武田 良介）

平成7年度会員別生乳計画生産達成状況

（単位：kg，％）

生産者団体	上期計		下期計		年度計					
	受託乳量	前年比	受託乳量	前年比	受託乳量	前年比較		計画対比		
						前年比	比較乳量	計画比	超過乳量	最終基礎目標数量
蔵王酪農	15,875,604.0	97.38	15,951,416.0	102.35	31,827,020.0	99.81	31,887,284.0	95.30	▲ 1,569,980.0	33,397,000
宮城酪農	25,389,836.0	96.91	26,435,548.0	107.37	51,825,384.0	101.98	50,820,228.0	100.13	▲ 67,384.0	51,758,000
経済連	14,856,069.0	90.82	15,578,205.0	105.11	30,434,274.0	97.62	31,176,664.5	94.48	▲ 1,776,726.0	32,211,000
仙台酪農	2,919,068.0	92.01	2,966,524.0	101.89	5,885,592.0	96.73	6,084,278.0	92.53	▲ 475,408.0	6,361,000
県酪連	14,937,861.0	100.67	15,386,016.0	108.57	30,323,877.0	104.53	29,009,318.0	100.23	▲ 68,877.0	30,255,000
栗原酪農	3,989,041.0	96.22	3,933,380.0	99.15	7,922,421.0	97.65	8,113,072.0	94.55	▲ 456,579.0	8,379,000
登米酪農	3,603,064.0	98.30	3,996,631.0	114.94	7,599,695.0	106.40	7,142,797.0	100.31	▲ 23,695.0	7,576,000
本吉酪農	2,895,950.0	96.44	2,868,783.0	102.97	5,764,733.0	99.58	5,788,838.5	92.52	▲ 466,267.0	6,231,000
遠田酪農	2,576,113.0	97.42	2,668,491.0	109.16	5,244,604.0	103.06	5,089,095.0	100.18	▲ 9,604.0	5,235,000
山田酪農	737,175.0	92.95	790,311.0	103.79	1,527,506.0	98.26	1,554,552.0	89.17	▲ 185,494.0	1,713,000
合計	87,779,781.0	96.33	90,575,325.0	105.88	178,355,106.0	100.96	176,666,127.0	97.40	▲ 4,760,894.0	183,116,000

※最終基礎目標数量は、当初基礎目標数量より流動化対象乳量及び再配分乳量にて調整した数量となっている。

動物用医薬品 (牛専用)

トルロミックS

特殊酵母十必須ビタミン十ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 代

飼い上手 育て上手は……
みのたに……で

動物薬品・獣医器具総代理店

株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL:083121
山形店 山形市太白区羽黒台31-14 16 TEL:094306
仙台店 仙台市大宮字布目字東通り57-1 TEL:240963
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL:240963

飼料は

まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (22) 6111
FAX石巻 0225 (22) 6116

(別表2)

平成7年度用途別受託販売数量

用途別	数量	前年比	用途別	数量	前年比
市乳向	130,969,824.4	95.15	チーズ向	995,314	102.49
醗酵乳等向	7,892,178.6	96.78	加工原料乳	33,288,556	138.73
生クリーム向	5,209,233.0	88.50	受託乳量計	178,355,106	100.96

(別表3)

平成8年度会員別生乳計画生産出荷目標数量

	①平成7年度 生乳出荷基礎 目標数量 (t)	②伸び率 (県全体) (%)	③平成8年度 生乳出荷基礎 目標数量 (t)
蔵王酪農	33,397		32,793
宮城酪農	51,758		52,503
経済連	32,211		31,362
仙台酪農	6,361		6,067
県酪連	30,255		30,690
栗原酪農	8,379		8,165
登米酪農	7,576		7,685
本吉酪農	6,231		5,942
遠田酪農	5,235		5,310
山田酪農	1,713		1,577
合計	183,116	99.44	182,094

(注1) 平成7年度生乳出荷基礎最終目標数量には950 tのチーズ仕向数量を含む。

(チーズ除外出荷基礎目標数量182,166 t)

(注2) 平成8年度生乳出荷基礎目標数量には1,100 tのチーズ仕向目標数量を含む。

(チーズ除外目標数量180,994 t)

(注3) 平成8年度生乳出荷目標数量の算定は

(1) チーズ除外出荷基礎最終目標数量 (182,166 t) - チーズ除外実績数量 (177,360 t)

=未達量4,806 t $\left\{ \begin{array}{l} 1.5\%許容 2,734 t \\ \text{ペナルティー} 2,072 t \end{array} \right.$

(2) チーズ除外出荷基礎最終目標数量 (182,166 t) - ペナルティー (2,072 t) =180,094 t

(3) $(180,094 t \times \text{平成8年度伸び率}100.5\%) + 1,100 t = 182,094 t$

(注4) 平成8年度生乳出荷基礎目標数量の達成が困難な会員は、その一部を変換できるものとし、本会はその数量を必要な会員に配分出来るものとする。

(注5) 万一、平成8年度の本会生乳出荷基礎目標数量に対し超過・未達が生じ平成9年度生乳出荷基礎目標数量が削減された場合は、その原因となった会員に対し数量を按分して帰属させる場合もある。

実践大学校生の抱負

我々畜産学部19期生

私たち、実践大学校畜産学部19期生は、北は若柳町、南は丸森町と広い地域から集まっています。

1年時には、名取教場で一般教養や農業に関する初歩的な知識を学びました。また、農業実習や視察研修も数多くありました。竹駒神社のお田植祭では、初めて田植えを体験し、つくづく機械のありがたさを感じました。1年時で最も印象に残っていることといえば、やはり「先進農家派遣学習」でしょう。およそ40日間、先進農家にお世話になり色々なことを学ぶことができました。学習期間には、楽しいことばかりではなく、辛いことも幾度かありました。しかし、終えてみると、みんな真っ黒に日焼けし、いつになく生き生きと見えました。

2年生となった現在は、学習の場を岩出山に移し、畜産経営に必要な知識・技術を県試験場の方々に教えてもらっています。今は、人工受精の校内選抜試験が行われており、この時ばかりはそれぞれを敵と思ってお互い刺激し合って勉強に励んでいます。その他にも、2年生になってやらなければならないことは数多くあります。人工受精師の資格試験の他にも、削蹄師の資格試験、卒業するためのプロジェクトの進行です。何かと忙しい毎日ですが、息抜きする時はおもいっきり息抜きをさせてもらっています。これからの楽しみは、11月に行われる海外研修です。

私たちは、卒業後全員が就農するとは限りません。卒業後の進路としては、今のところ就職や研修という人がほとんどで、就農する人はほんのわずかなものです。就職にしても、全く農業には関わらない仕事につく人もいると思います。だからといって、この大学校で学んだ2年間を棒に振ることのないようにしたいです。1度就職しても、いずれは就農すると思います。その時は、どうぞ指導よろしくお願いします。



ビフィズス菌は

生きてそのまま腸までとどきます。

ビヒダス
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688



動物用薬品器材のことなら

タックにご用命下さい。

株式会社 タック

本社 仙台市青葉区上杉三丁目3番8号
電話 022-225-7338(代)
仙台(営) 遠田郡小牛田町関根字館野28番
電話 0229-34-2018(代)
古川(営) 福島市矢剱町22番5号
電話 0245-36-2815(代)
福島(営) 須賀川(営) 須賀川市却町3番
電話 0248-76-5177(代)

宮城経済連畜産部の推進体制について 〈事業所の機構改革〉

宮城県経済農業協同組合連合会

平成 7 年 4 月に県畜産連合会と合併して 2 年目を迎え、事業方式の再構築を図り、本県畜産事業の効率的事業展開を進めるため、8 か所の事業所を、現在の家畜市場事業所 5 か所に集約する機構改革を行い、平成 8 年 4 月からスタートさせました。

永きに亘り事業を進めてきた組織の改革は、当面の間、関係機関並びにご利用者の皆様には、ご不便を煩わすこともあろうかと存じますが、ご支援、ご協力を賜わり、1 日も早い時期に相乗的機能発揮できるよう進めてまいりたいと思っております。

畜産を取り巻く環境は、UR 合併に伴い、農畜産物の市場開放、規制緩和等による価格の不安定要素が増大され、畜種毎生産基盤の構造変化が急速に進行している中、事業推進力の強化と効率化による実践的推進体制のもと、将来展望を見据えた事業展開が急務と考えております。

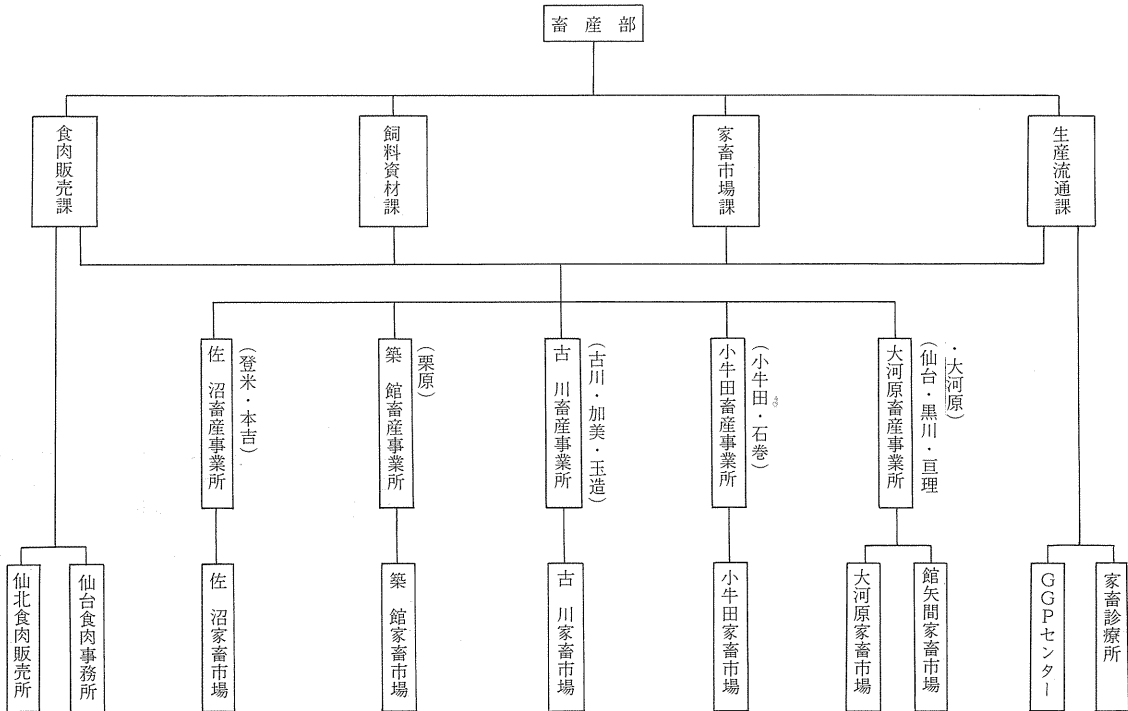
又、全国的規模で実施されております農協の広域

合併については、本県において、JA みどりの（3 月に発足）、JA 栗っこ（4 月に発足）が誕生、さらに平成 9 年には 3 地域の広域 JA 誕生が予定されております。

この JA 大型化に対応して、当該 JA 専任担当職員の配置、さらに、東北くみあい飼料(株)、宮城県畜産会の配慮により推進職員の派遣をいただき、系統事業への協力を得て、なお一層の畜産事業の拡大と生産農家の健全経営に努力してまいります。

平成 8 年度重点推進事項

1. 畜産総合推進体制の強化
2. 生産基盤の整備強化
3. 家畜改良事業及び家畜市場事業の整備強化
4. 食肉販売機能及び体制の整備強化
5. 飼料・資材事業の再構築による拡大強化
(生産流通課補佐 丹野 康治)



肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス

牛用混合飼料

S

アミノ酸・ビタミン・ミネラル強化混合飼料

農協 | 全農 | 経済連

正統の育ちと味

仙台牛

仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL.022(264)8449-50

WORLD 世界の

サンショタン

株式会社 五十嵐商会

仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)

畜産農家経営支援パソコン研修会開催される

NOSA I宮城

3月12日、仙台市青葉区のNOSA Iビルで「中核畜産農家経営支援研修会並びに畜産経営関係データベース研修会」が県内で畜産に従事する農家の後継者ら35名参加して開催された。

この研修会はNOSA I宮城と畜産会が主催し、畜産関係機関、団体等の協力のもとで、畜産関係者の連携を深め、畜産経営にパソコンを活用し、飼養の効率化を図り、経営の安定化を目指して頑張ってもらおうと本県では初めて開催されたもの。

はじめに主催者側を代表してNOSA I宮城佐藤参事が「内外の急速な経済、社会情勢の変化の中で関係機関、団体が一致して行わなければならない農業経営支援対策の一環として今回の研修会を開催した。これからは畜産情報の高度利用による経営の戦略作りをどうするかが、課題となっている。NOSA Iとしては損害を防止し、さらには生産性の向上を目指しての繁殖管理としてのJMRの指導、プロフィールテスト、搾乳立会による高品質乳の生産支援などを考えている」とあいさつ。

午前中はインターネットのデモンストレーションが行われ、ビデオプロジェクターを使ってホームページの検索やバーチャルショップの説明などが行われた。画面には気象情報や営農情報、中央畜産会、岡

山県畜産会、アメリカのホワイトハウスなどが次々に出され、催し物、地場産品、市場情報などに参加者は興味深げに見いていた。

午後からは畜産経営情報データベースの概要について説明し、その後全員がパソコンに向かい、繁殖管理台帳の入力データの活用方法などを実習した。


参加者からは「今後も継続してもらえるのか」「インターネットの加入方法や費用はどの程度か」などの質問が相次いだ。

最後に意見交換の場もたれ、畜産関係団体に対する要望や畜産経営関係情報データベース化に対する要望等が出され、「青色申告でパソコンを使用しているが、高額で複合経営の使い勝手が良くない。安く良いソフトを開発してもらえないか」「パソコンを初めて使ったので難しかった」「地区 or 組合には3~4台あるが皆使えない状況だ」「検定を行っているが、書類の転記等が煩雑である」などの意見が出された。

NOSA I宮城では畜産農家の意見を反映しながら今後でも畜産農家に対して支援を継続して行きたいので、畜産関係機関団体等との御協力をお願いしたい。

(家畜課長 菊地 重夫)





クスリの総合卸
株式会社 エーシン
 EISHIN

取締役会長 山田 修造
 取締役社長 竹下 正則

本社 〒980 仙台市青葉区木町通一丁目5-20 ☎022(267)7211
 事業本部 〒984 仙台市若林区卸町二丁目10-3 ☎022(284)8111
 古川営業所 〒989-61 古川市福浦字道の上137-1 ☎0229(24)1211

畜産の健康と未来に貢献する
 獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材


小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
 TEL 0198 064151代
 古川営業所 古川市清水字周防10-1
 TEL 0229-26-4567

花巻営業所 横手営業所 酒田営業所 帯広営業所
 盛岡営業所 青森営業所 福島営業所 家畜衛生食品
 大船渡営業所 八戸営業所 旭川営業所 検査センター
 大館営業所 山形営業所 札幌営業所

**畜産振興の明日を
担う地方競馬**



地方競馬全国協会

インターネットによる畜産関係情報の提供について

宮城県畜産会

畜産物輸入の増加等畜産をめぐる情勢が大きく変化しつつある中で、畜産の健全な発展を図るためには、畜産関係情報をリアルタイムで活用できる条件の整備を行い、情勢の変化に対応し得る畜産経営体の育成等を図ることが重要です。

このため、中央4団体（畜産振興事業団、中央畜産会、中央酪農会議、家畜改良事業団）が主体となり、パソコン通信網等を利用した情報のデータベース化及び提供方法等について検討されてきました。これらをもとに平成7年度より本会を含めた全国10道府県が畜産関係情報データベース化事業に取組み、平成8年3月までに畜産情報ネットワークとして各々

ホームページを開設し、インターネットによる情報提供サービスを開始しております。

これらの情報は、畜産経営技術情報・生産資材や生産物の販売・流通関係の情報・世界の動きなど「総合的な畜産情報」を利用者の方が必要な時に、必要な情報を得られるシステムになっており、多くの情報をわかりやすく分類しておりますので、見たい項目を探すのも簡単です。下記にアドレス及び利用例を記しておきましたので、興味のある方は是非ともアクセスしてみてください。

(技師 石川 正志)

1. アドレス

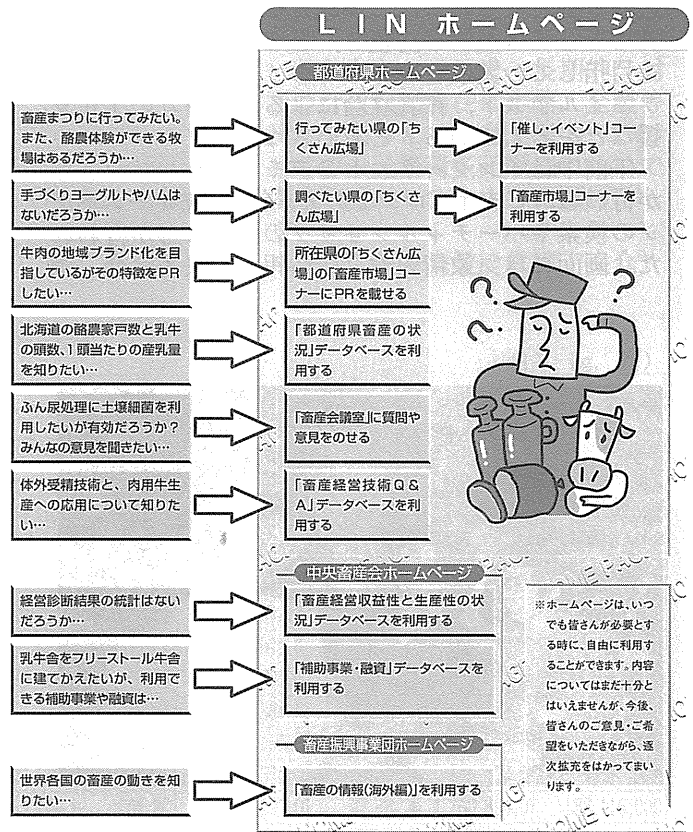
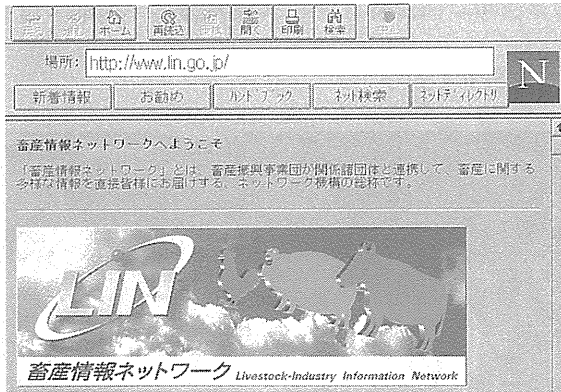
畜産情報ネットワーク

<http://www.lin.go.jp>

中央畜産会

<http://cali.lin.go.jp/cali/>

2. 利用例



STAR スター農業機械

マニュアルスプレッダ

倍角ステアリングで
ラクラク作業

TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクホイール)

スター農機株式会社 仙台営業所
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収
糞の正常化と悪臭防止など。
35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母

Ferment Feed

ビタコーゲン

〒980 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
株式会社セイワ 東北営業所
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 213-7190

ORION
ともに前進 技術のオリオン

酪農家の
声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68号 (022) 284-0691
宮城営業所 古川市野田字泉原59-4
〒989-61 TEL (0229) 26-4330

<畜試便り>

乳用牛群検定事業について

宮城県畜産試験場

乳用牛群検定事業は、乳用牛群の生産性を高め、酪農経営の改善を図るため、昭和49年から実施されています。当畜産試験場では、検定情報分析センターという位置づけで、四半期毎に家畜改良事業団から送られる検定情報の分析加工を行い、成績の活用を支援しています。現在、表・グラフ形式の数種類のデータを各地域の検定組合を通じて検定参加農家の方に配布していますが、その提供情報の一部について紹介します。

- ① 体細胞グラフィック：牛群全体と個体毎の体細胞数の推移をグラフ化した資料です。牛群の成績が悪い場合、足を引っ張る問題牛を早期に発見でき、対策が容易になります。
- ② 繁殖成績簡易評価表：牛群の繁殖成績を点数化し、一覧表にしたものです。分娩間隔、空胎日数、分娩後初回授精日数、平均受精回数、乾乳日数等の各項目を目標値と対比することで、著しく劣

ている項目を明らかにし、改善を行うことができます。

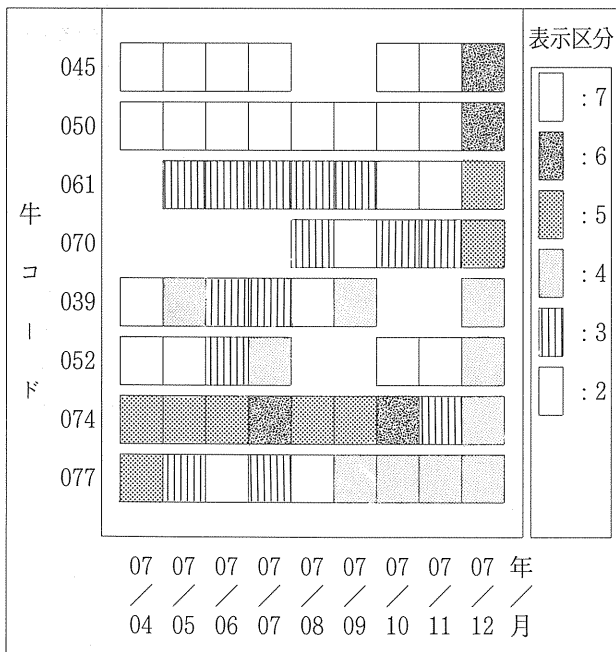
この他、個体牛を乳量・乳成分によりランク付けした資料（個体別成績順位表）や乳量と乳成分のバランスを個体毎に表にした資料（補正乳量と乳成分の分布）等様々な提供情報があります。

酪農経営の改善には牛群全体の動向を知ることはもちろん、この検定事業を活用し個体毎の生産状況を早く正確に把握することが大切です。本県では、3つの検定組合と家畜改良事業団、生乳検査協会がオンラインで結ばれており、検定日から6日程度で検定結果がフィードバックできる体制をとっています。

様々なメリットがある検定事業により多くの酪農家の方々が参加されるよう、事業の推進につきまして一層の御理解、御協力をお願いいたします。

(乳牛科 武田 正寛)

表1 個体別リニア・スコアの推移



【スコア】 2：5万以下 3：10万 4：20万 5：40万 6：80万 7：80万以上

表2 繁殖成績簡易評価表

目標	分娩間隔	空胎日数	分娩後初回授精日数	受胎に要した平均授精回数	初産月令	乾乳日数	評価				
	380日	100日	80日	1.6回	24ヵ月令	60日					
成績	日	点	日	点	日	点	月	点	日	点	ほぼ満足 不良項目改善 徹底した改善を要す
	420	50	140	50	130	60	2.0	60	28	60	
	410	60	130	60	110	70	1.9	70	27	70	
	400	70	120	70	100	80	1.8	80	26	80	
	390	80	110	80	90	90	1.7	90	25	90	
	380	100	100	100	80	100	1.6	100	24	100	
	370	100	60	100	60	100	1.0	100	23	90	
	360	100	50	90	50	90	-	22	70	40	
得点	50	50	92	60	70	94	69				

動物用医薬品

セレン配合
総合ミネラル固型塩

錠塩セレン

日本全薬工業株式会社

TCM東洋運搬機株式会社

東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
電話 022-259-6351

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業

コマツ宮城株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番代

<衛生便り>

牛海綿状脳症の最新情報

仙台家畜保健衛生所

最近、世界中で、牛海綿状脳症（狂牛病）という病気がマスコミ等を賑わしています。この病気は1987年に英国の牛で初めて報告された遅発性・致死性の中樞神経疾患です。本病は、羊のスクレイピー（潜伏期間1～5年、搔痒症や神経症状を示し、発病後4～6週で衰弱死する）と同じく伝達性海綿状脳症に属する病気です。現在まで、英国を中心としたヨーロッパ地域で145千頭の発生が認められています。

感染した牛は、2年以上の潜伏期間を経過後、中樞神経が侵されて、神経症状を呈し死亡します。組織学的検査では、脳が海綿（スポンジ）状になることからこの病名が付けられました。

この病気の原因は、ウイルスより小さい病原蛋白質であるプリオン蛋白質が関与していると言われています。牛への感染は、スクレイピーに感染した羊の過熱処理不十分な肉骨粉を給与されたことによるものと考えられています。本病の診断は、臨床症状と組織学的検査によって行われています。

現在のところ、日本での牛海綿状脳症の発生は認められていません。一方、羊のスクレイピーは、過去に北海道等で発生しましたが、平成7年以降の発生はなく、最近の県内での調査でも確認されませんでした。

本病の牛間での感染は明らかにされておらず、また一部の報道で人への感染が懸念されていますが、科学的実証がなく、実際のところ不明です。

農林水産省では、今回の狂牛病対策の一環として英国からの牛肉やその加工品、牛や羊を原料とした飼料の輸入を禁止し、さらに牛海綿状脳症ならびに羊のスクレイピーを法定伝染病に準じる病気として指定し、万全な国家防疫体制を実施することにしました。

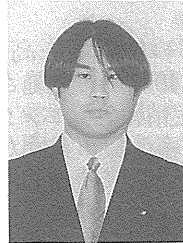
(仙台家畜保健衛生所 病性鑑定課 西 清志)

<抱負>

宮城県職員（公務員）になった経緯

畜産試験場

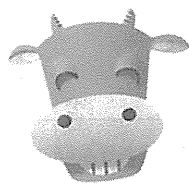
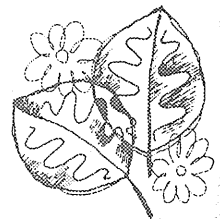
受精卵研究科 技師 伊藤 裕之



まず、自分が漠然と就職のことを考え始めたのは、確か大学の2年生の頃でしたが、その前に大学院に行ってみたかったので進学しました。大学、大学院で自分は、様々な状態における反芻家畜の生理反応（メン羊の糖代謝、乳牛のミネラル代謝）を実験、研究していました。しかし、これらの研究が直接、畜産のために役だっているのかどうか疑問を感じたこと、それに正直言ってもうあまり実験はしたくないと思ったことから、普及員になって農家の方々と一緒に仕事をしてみようと思い、公務員試験を受けることを院生の1年生の終わり頃に決めました。でも、まだこのころは、どこの県を受けるか決めかねており、試験要項を4県から請求し、そのすべてに受験の願書を送付しました。その中から宮城県を選んだのは、正直に言うと、単に生まれ育った県（仙台生まれ）であることぐらいしか理由はありませんでした。

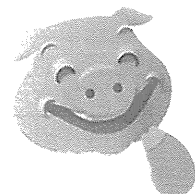
これらの理由の中から希望がかなったのは、公務員になれたことだけですが、これから皆様の足を引っばらないように一生懸命頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

（宮城県職員 伊藤 裕之）



肉の日

毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒980 仙台市青葉区上杉1丁目2-16(社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-262-9180